

# 民主党青年局の研究

— その過去・現在・未来 —

衆議院議員 津村 啓介

衆議院議員 森山 浩行

衆議院議員 岡田 康裕

衆議院議員 小山 展弘

東京都議会議員 滝口 学

東京都議会議員 小山 有彦

兵庫県議会議員 栗山 雅史

吹田市議会議長 竹内 忍一

# 本 編

はじめに

I 組織

II 歩み

III 「青年局宣言」の策定と意義

IV 「2012年の活動方針」と実際の取り組み

- ① メンバーシップ
- ② 地域ブロック
- ③ モデル地域
- ④ 定例会議
- ⑤ インターネットの活用
- ⑥ 海外交流
- ⑦ 学生部
- ⑧ 若者との交流
- ⑨ 企業・団体交流
- ⑩ 他党との交流

V 今後の展望と課題 (1年間の活動イメージ)

VI 党執行部への提言

VII (参考) 自民党青年局の研究

## 別添資料集

1. 47 都道府県連 青年局アンケート
2. 2011 年からの活動実績＜時系列＞
3. 東京都連青年委員会の活動報告
4. 近畿ブロック青年委員会議の経過と活動
5. 青年議員と Facebook の新しい関係
6. 青年局ホームページについて
7. 国際交流
8. 学生部
9. 若者との交流
10. 企業・団体交流

## はじめに

- 民主党青年局は、いま、成長期にある。
- そもそもわが党は、結党以来、数度の国政選挙や統一地方選挙などを経て、新しい政治の担い手として、多くの青年議員を誕生させてきた。彼らの若い力は民主党をキャラクター付ける重要なファクターとなっている。  
また、わが党は、自民党など他党に比べフラットで風通しの良い組織だが、こうした「民主党らしさ」も、各地域に散らばる青年議員たちの活発なボトムアップ型の活動、発信に依るところが大きい。
- しかしながら、歴史は浅く、足腰は弱い。青年議員の若い力を束ね、チームとしての総合力を高めていくことが喫緊の課題だ。
- 自民党青年局は、東日本大震災1年を機に、小泉進次郎局長を中心に「チーム11」を立ち上げ、継続的な被災地支援のスキームを打ち出した。  
また、伝統的に5つの役割（①派閥・地域横断のネットワーク機能、②候補者発掘機能、③選挙ボランティア動員機能、④海外政党との交流を通じた外交補完機能、⑤党のブランド力アップ機能）を担っているが、民主党青年局に、未だその力はない。
- 現実を直視し、2012年度の民主党青年局は、①組織の骨格づくり、②民主党らしさの追求、③活動の継続性の確保の3点に目標をフォーカスすることにした。  
パフォーマンス的になりやすい単発のイベント開催は避け、総花的な活動に陥らないように“選択と集中”を徹底した。
- 過去の党運営において執行部の交代が繰り返されるとともに、民主党青年局の役員が毎年のように入れ替わり、組織や活動が必ずしも円滑に引き継がれなかったとの反省に立ち、活動の継続性確保には特に留意した。
- 本ペーパーは、民主党青年局がこの一年間に行った議論と実践を記録し、次世代への引き継ぎ文書とすると同時に、将来に向けたビジョンとイメージを提示する。

## I 組織

- 民主党青年局は、党本部の国民運動委員会に属する3つの下部組織（青年局、遊説局、男女共同参画局）の1つである。
- 役員は、局長1名、局長代理2名、事務局長1名のほか、局次長若干名、事務局次長若干名で構成され、人選は国民運動委員長が行っている。任期は執行部に準じており、ここ数年はほぼ1年ごとに交代を重ねている。
- 事務スタッフとして、党本部職員1名（およびその上司）が配属されている。もともと、兼務等が頻繁に発生しており、必ずしも安定的に運用されていない。

## II 歴代青年局長

- 2001. 9 ～ 浅尾慶一郎 青年局長
- 2004. 1 ～ 寺田学 青年局長
- 2004. 9 ～ 浅尾慶一郎 青年局長
- 2005. 9 ～ 泉健太 青年局長
- 2006. 9 ～ 泉健太 組織委員長代理（青年担当）
- 2007. 9 ～ 藤末健三 組織委員長代理（青年担当・青年局長）
- 2009. 10～ 太田和美 国民運動委員長代理（青年担当・青年局長）
- 2011. 9～ 津村啓介 国民運動委員長代理（青年局長）

### Ⅲ 「青年局宣言」の策定と意義

- 民主党青年局の役割は、以下の5ヶ条からなる「青年局宣言」に明文化されている。

#### 民主党 青年局宣言

- 青年局は、若い力を発揮し、党が進める国民運動の先頭に立つ。
- 青年局は、本部、11 地域ブロック、47 都道府県連をそれぞれ活動の単位とする。
- 青年局は、若者、学生、海外、地域、各種団体との対話と交流を活動の柱とする。
- 青年局は、草の根の街頭活動とインターネットの双方を通じ、積極的な情報発信を行う。
- 青年局は、次世代の日本を見据え、共に研鑽し、若者の視点で政策提言を行っていく。

- 地域ブロック青年局の創設によって「タテの三層構造」を取ったこと、活動の具体的な広がりとして「5つの柱」を例示したこと、若者の視点を強調したことなどがポイントとなっている。

#### IV 「2012年の活動方針」と実際の取り組み

- 中長期的なスパンで民主党青年局の位置づけ、役割を定義する「民主党青年局宣言」とは別に、短期的な目標を共有する意味で、単年度の活動計画「2012年の活動方針」を策定し、これにのっとり活動を行った。

##### 2012年の活動方針

- 青年局は、各都道府県連の青年組織に所属する国会議員、地方議員をメンバーとする。
  - ― 原則として、概ね45歳以下の党公認議員を対象とする。
- 当面の目標を「11地域ブロックにおける青年局組織の立ち上げ」におく。
  - ― 2012年前半に、11ブロックでKick Off会議を開催する。
  - ― 党本部から年50万円の活動資金をブロック単位で交付する。
- 東京および近畿ブロックを「モデル地域」に指定する。
  - ― 両ブロックの代表者を本部青年局役員に任命し、本部青年局の運営に参画を求める。
  - ― 本部青年局と「モデル地域」は街頭活動や政治スクール、インターン受入れなどで連携し、ノウハウを共有、蓄積する。
  - ― 来年度以降、全国11ブロックとノウハウを共有し、全国規模での活動拡大を図る。
- 学生部を強化する。
  - ― 議員交流会、インターンシップの開催回数を増やし、コアメンバーを養成する。
- Facebookを活用し、全国47都道府県連の青年組織の活動を互いに情報共有する。
  - ― Facebook上に3つの「グループ」を開設する。
    - ① 一般向け広報のためのFacebookページ「民主くん（民主党青年局）」（Open）
    - ② 青年局メンバーのためのグループ「民主党青年局」（Closed）
    - ③ 全国青年局長・委員長のためのグループ「全国青年局長・委員長」（Secret）
- 「民主くん」を、民主党青年局の公式キャラクターとして、活用する。
- 2012年夏をメドに、本部青年局および全国47都道府県連の青年組織有志からなる海外訪問団を編成、派遣する。海外政党との政党間交流を深める。

以上

○ 以下、具体的な取り組みについて述べる。

## ① メンバーシップ

メンバーシップについては、47 都道府県連それぞれの意向を尊重することとしている。「年齢をどこで区切るか」「公認候補のみとするか推薦・友好議員を含めるか」「元職や予定候補者の扱いをどうするか」「秘書や県連事務局スタッフ、一般党员を含めるか」など、論点はいくつもあるが、地域によって政治情勢や対象となる党员の数も大きく異なることから、メンバーの資格要件、登録の判断は各都道府県連に委ねることとした。

その上で、党本部における登録は「各都道府県連の青年組織に所属する国会議員、地方議員をメンバーとする」こととした。

なお、今後各地域ブロックや各都道府県連が基準を新たに設けたり、改定していく場合の一応の目安として「原則として、概ね 45 歳以下の党公認議員を対象とする」旨を付記している。

## ② 地域ブロック

2012 年度の最大の目標は「11 地域ブロックにおける青年局組織の立ち上げ」であった。具体的には、次の 5 つのステップを踏んで進めた。

### (1) 各都道府県連青年局・青年委員会へのアンケート調査の実施

- ・ 民主党各都道府県連青年局・青年委員会担当者宛
- ・ 2011 年 12 月 9 日発出、2011 年 12 月 14 日返信締切

各都道府県連での青年局・青年委員会の体制や活動状況等について報告を求め、あわせて党本部青年局に対する意見・要望を募集した。

アンケート集計結果は、【別添資料 1】参照。

### (2) 第 1 回全国青年局長・委員長会議、懇親会の開催

- ・ (会議) 2012 年 2 月 20 日 15:00～16:30 衆議院第一議員会館 1 階 国際会議室
- ・ (懇親会) 2012 年 2 月 20 日 17:00～ 春秋 溜池山王店

アンケートの結果を受け、『青年局宣言 (案)』、『青年局活動方針 (案)』を作成し、会議に提出した。会議には、全国の青年局・青年委員会の代表者に参集いただいた。

当日も熱のこもった建設的な意見が多数表明され、いくつかの修正を経て、『民主党 青年局宣言』、『2012 年の活動方針』が採択・承認された。

また、東京都連青年委員会、近畿ブロック青年局より、それぞれのブロックごとの活動事例の紹介があった。会議では、今後、両ブロックを「モデル地域」に指定するとともに、両ブロックから本部青年局会合への参画を求めることを決定した。



### (3) 各ブロックの Kick off 会議

第1回全国青年局長・委員長会議で採択・承認された『民主党 青年局宣言』及び『2012年の活動方針』に基づき、2012年前半を目途に、全11ブロックにおいて、ブロックごとに Kick off 会議等を開催した。

各ブロックには、①代表世話人、会計担当者の選任と幹事都道府県連の決定、②ブロックとしての年間計画書（50万円の交付金の前提となるもの）の提出を求めた。

また、本部青年局役員のうち毎回1、2名はブロック会合に出席することとした。

各ブロックの開催日時、場所等は、【別添資料2（2012年の活動実績）】参照。

### (4) 第2回全国青年局長・委員長会議、懇親会の開催

- ・(会議) 2012年7月9日 15:00～17:00 衆議院第一議員会館1階 多目的ホール
- ・(懇親会) 2012年7月9日 17:30～ 和龍 赤坂 焼饅頭店

第一部では、青年局長より経過報告を行い、各ブロックからは活動実績や今後の取り組みについての報告があった。

第二部では、『青年局宣言』に基づく各ブロックならびに都道府県連における今後の青年局活動のあり方について、グループディスカッション形式で意見交換を実施し、その結果をグループ代表者より発表した。

### (5) 11地域ブロック代表世話人・会計責任者会議（研修合宿）

2012年夏までに11地域ブロックで Kick Off 会議またはその準備会合が開催され、各地域の代表世話人・会計責任者が選出されたことを受け、9月3日（月）、4日（火）の両日、衆議院第二議員会館および都市センターホテルを会場として、第1回11地域ブロック代表世話人・会計責任者会議が開催された。同会議では本資料（『民主党青年局の研究』）を教材に、今後の全国および地域ブロックにおける活動イメージの共有が図られた。

## ③ モデル地域

活動方針において、「東京および近畿ブロックを『モデル地域』に指定する」こととし、両ブロックの代表者各2名を本部青年局事務局次長に任命した。

両ブロック代表者の献身的な協力と両ブロックの精力的な活動は、2012年度青年局活動における特筆すべき貢献であり、成果であった。

両ブロックの活動報告は【別添資料3、4】参照。

なお、2013年度以降においては、(1)引き続き東京と近畿の2地域をモデル地域とする、(2)モデル地域を4～5地域に拡大する、(3)11地域ブロックの代表者を全員本部青年局事務局次長に任命する、などの選択肢が考えられる。

#### ④ 定例会議

##### (1) 開催経緯

本部青年局の運営にあたっては、月 2 回の定例会合を意思決定の場として運用した。

なお、高額な予算を費消する場合や、大規模な会議の開催にあたっては、上部組織である国民運動委員会の近藤洋介委員長に報告、ご承認いただくケースもあった。

「青年局宣言」「2012 年度の活動方針」は近藤委員長によって、党本部役員会、党本部常任幹事会に報告された。

なお、全国 11 ブロックの青年組織の立ち上げなどのプロジェクトを強力に進めるため、党本部青年局に所属する国会議員だけでなく、モデル地域である東京ブロックおよび近畿ブロック所属の地方議員各 2 名を事務局次長に任命し、定例会合に出席頂くこととした。両ブロックからは毎回欠かさず定例会合にご出席を頂き、活発な意見交換がなされた。

##### (2) 出席者

<衆議院議員> 津村啓介 青年局長、岡田康裕 青年局長代理、小山展弘 青年局長代理、森山浩行 事務局長

<地方議員> ※事務局次長

東京ブロック 2 名 → 滝口学 東京都議会議員、小山有彦 東京都議会議員

近畿ブロック 2 名 → 栗山雅史 兵庫県議会議員、竹内忍一 吹田市議会議員

<学生部> 徳田晃弥 代表 (中央大学 4 年)

<党本部事務局> 田中悦子、及川敏章、藤田勇人 他

##### (3) 開催日時

2011 年 9 月～2012 年 8 月末現在までに、全 26 回開催した。

日程の詳細は、【別添資料 2】参照。

##### (4) 開催場所 衆議院第二議員会館 806 号室 (津村啓介衆議院議員室)

#### ⑤ インターネットの活用

2012 年度の新しい取り組みとして、Facebook を積極的に活用した。たとえば、11 地域ブロックでの Kick Off 会議の様相について数多くの投稿がなされたほか、学生部などとの情報共有にも活用された。

もともと、全ての青年議員が Facebook ユーザーではないことへの配慮や、情報セキュリティの観点から、Facebook はあくまでも情報共有のための補助的ツールと位置付けており、意思決定のためのツールにはしないこととしている。詳しくは【別添資料 5】参照。

青年局ホームページは、2001 年より青年局活動の発信ツールとして更新されてきたが、

東日本大震災以降、2011年3月～2012年3月まで実質更新されず、休止状態にあったが、2012年6月より内容を一新し再公開している。もっとも、システム更新の必要から、2013年度に改めてリニューアルする必要がある。詳しくは【別添資料6】参照。

## ⑥ 海外交流

「海外政党との政党間交流を深める」ことを活動方針においた。

外交関係は米中はじめ各国が行っているように、政府レベルのものと同時に、政党レベルでも国際局と連携して活発化することを目指す。

青年局では「青年交流」を主とし、国交のない台湾との関係には特に留意する。

具体的な活動（メコン各国訪問交流、英国保守党との交流、台湾交流、ミャンマー交流など）については【別添資料7】参照。

なお、党青年局として海外渡航する際は、党国際局と事前に連携、調整する必要がある。

また、次年度以降への引き継ぎ事項として、JENESYS 関連事業継続（訪日団接受、各国訪問）、台湾訪問（継続事業としての第一回）などがある。

## ⑦ 学生部

東京都連や党スタッフほかの力強いサポートの下、メンバー数の低迷に悩んできた学生部の再強化に取り組んだ。徳田晃弥代表を中心とするコアメンバーの活躍により、活動の幅は広がりを見せ、大きな成果を挙げることができた。詳しくは【別添資料8】参照。

党に対する逆風が強い中で、今年度はコアの強化に注力せざるを得ない一面もあった。今後は、構成メンバーの広がりをいかに確保していくかが課題となろう。

## ⑧ 若者との交流

学生部の活動のほかにも、10代、20代の若者に政治に興味を持ってもらうための活動に鋭意取り組んだ。詳しくは【別添資料9】参照。

来年度以降も、ポテンシャルの高い活動領域と考えられる。

## ⑨ 企業・団体交流

本年度においては、地域ブロックの立ち上げに特化したこともあって、企業団体交流の活動はあまり活発とは言えなかった。

しかしながら、将来のポテンシャルが大きい分野であり、小山局長代理の孤軍奮闘によってJAなど一部団体との交流は継続的に行われた。詳しくは【別添資料10】参照。

## ⑩ 他党との交流

今年度の目標の一つにおき、世代的なテーマでの政策討論会等を模索したが、具体的に進まなかった。将来の課題の一つ。

## V 今後の展望と課題 (1年間の活動イメージ)

### ○執行体制について

執行役員体制については、青年局に所属する国会議員から局長、局長代理、事務局長などを計5名程度選出し、また地方議員からは局長代理や事務局次長として計5名程度を選出、合計10名程度の執行役員体制を基本とする。

一方、全国11地域ブロックの代表世話人等が選出されたことに伴い、上記執行役員を含めた「拡大執行役員会」のような会議体を組織することも検討していきたい。

### ○年間計画案

我々のイメージする年間計画案は、以下のとおりである。

年／月 開催地 (例)	行事予定	ブロックの 動き
2012/09	・党本部 青年局 役員改選 ・新体制による党本部 青年局会合を開催 (国会議員及び地方議員代表)	◆2012年度 後半イベント 11月ごろまで
2012/11 〇〇 (仮)	・全国ブロック代表世話人・会計担当者会議 (秋) →新役員と新方針 (案) を発表。新しい取組みなどをもとに協議。	
2013/02 (党大会後) 〇〇 (仮)	・全国青年局長・委員長会議 (冬) →新方針 (案) を協議、採択 →これまでの取組みを報告、今後の方向性などを発表	◆2013年度 前半イベント 5月ごろまで
2013/05 東京 (仮)	・全国ブロック代表世話人・会計担当者会議 (春) (自治体議員団フォーラムの前後に開催) →これまでの取組みを報告、今後の課題などを抽出	
2013/08 〇〇 (仮)	・全国青年局長・委員長会議 (夏) & 海外交流企画 →これまでの取組みを報告、引継ぎ、海外交流企画実施	◆2013年度 後半イベント 11月ごろまで

※〇〇 (仮) としている開催地については、大阪、福岡、札幌など地方での開催も検討。

○ 将来的には、全国の青年議員を対象とした「年次総会」「青年局合宿」なども展望。

## VI 党執行部への提言（案）

○ 青年局メンバーは、党執行部に対し、以下の3点を提言する。

### 1) 青年局の組織としての格上げ、強化

党規約において、青年局を幹事長部局の一つに位置づけ、青年局長を役員会・常任幹事会のメンバーとするとともに、青年局長代理、局次長などの幹部人事を常任幹事会の承認事項とし、これらのポストに自治体議員を積極的に登用すること。また、人材の発掘・育成のための支援を強化すること。各都道府県連に同様の取り組みを促すこと。

### 2) 学生ボランティアの恒常的な受け皿作り

党本部および各地域ブロックで年1～4回の学生インターンシップを開催するほか、各地で常設機関として「学生部」を明確に位置づけ、学生ボランティアの受け皿として育成すること。このため、党本部および各都道府県連においてインターンシップ関連の予算を増額し、専任スタッフ・議員を配置すること。

### 3) 「アジア青年リーダーサミット」の開催

国際的かつ超党派の若手議員・リーダー交流を制度化し、アジア各国で活躍する未来志向の青年議員を毎年一堂に集め、互いの歴史・伝統・文化を学び、互いへの敬意と共通の価値観を共有していくための機会とすること。そのハブとなる国際会議を日本のイニシアティブで実現すること。

## Ⅶ （参考）自民党青年局の研究

- 自民党には、党組織の一つとして長い歴史を有する「自民党青年局」があり、歴代青年局長は党役員の一員として位置付けられてきた。現在の青年局長は、小泉進次郎衆議院議員。
- Wikipedia によれば、自民党青年局のメンバーシップは「45 歳以下の党員で構成される。党所属の国会議員はじめ地方議員・サラリーマン・学生、いずれの場合も 45 歳以下でさえあれば、青年局に所属することができる」となっている。
- また、同組織の「重要な性格として、自民党における唯一の対中華民国窓口機関であることが挙げられる。これは、当時の海部俊樹青年局長・小渕恵三青年部長が、台湾の蔣経国との間で、『両国間の窓口を自由民主党青年局および中国青年反共救国団（現在の救国団）とする』と合意したことに遡るとされる。
- 自民党関係者などからのヒアリングをもとに、自民党青年局の歴史的役割を整理すれば、党組織の一角を担う上で、以下の 5 つの機能を果たしてきたと分析することができる。
  - ① 世代を切り口にした派閥・地域横断のネットワークづくり機能
  - ② 若手社会人との連帯による候補者発掘のリクルートメント機能
  - ③ 大学生との交流、サークル作りを通じた選挙ボランティア動員機能
  - ④ 海外政党との交流を通じた外交ルート補完機能
  - ⑤ 「若い力」を前面に押し出すことによる党のブランド力改善機能
- これらの機能が重層的に果たされることによって、自民党青年局は同党の長期政権化に一定の寄与を果たしたと評価することが可能と思われる。
- 自民党青年局は、党本部はもとより、47 都道府県単位でも活発に活動しており、年に 1 度、全体での合宿研修会も開催している模様である。また、2012 年 3 月からは、毎月 11 日に全国 11 地域ブロックの代表者を被災地に集め、「チーム 11」と称する被災地復興支援活動を継続的に行っている。

以 上

# 別添資料集

## 1. 47 都道府県連 青年局アンケート（2011年12月実施）

○青年局の新しい取り組みへの参考にするため、2011年12月、全都道府県青年局に向けてアンケートを実施した。アンケート内容は、①青年局（青年委員会）のこれまでの取り組み、②党本部青年局へ期待すること、の2点。

### ① ブロック及び各都道府県連における、青年局（青年委員会）の取り組み

- ・ 『青年』に該当する議員が少ないため、活動が停滞している。今後の取り組みについては、現在検討中。（熊本）
- ・ 近畿ブロックはご承知の通りの取り組みです。滋賀県連の青年局の取り組みは、十分に活動ができていないのが現状です。若い世代へのアプローチを含め、若年層の政治参加に向けて、引き続き取り組みを行っていききたいと思います。（滋賀）
- ・ 中国5県で「クラブデモクラッツ中国」を設立、研修会や選挙支援を行っている。広島県連として来春開校予定の政治スクールの担当を務める。（広島）
- ・ 府連活動としては、2ヶ月に一度の定例会議と街宣活動を行っている。また、政治スクールが開催時にはスタッフとして参加し、若年層の民主党支持者の拡大や政策、理念への理解を促す活動を補佐している。そのことで、ひいては議員候補者の発掘につなげようとしている。近畿ブロックでは、京都－大阪、兵庫－大阪、京都－兵庫とバイラテラルな関係から、2府4県を対象とするマルチラテラルな取り組みへと発展してきた。今後の方向性を探っていききたい。（大阪）
- ・ 四国4県の青年局合同で「民主党四国青年局」を設置しています。今年の統一地方選挙で、主要メンバー3人が落選しており、本年は特筆すべき活動ができていないのが現状です。来年の活動再開にむけ、残るメンバーと協議中です。（徳島）
- ・ 県連県民運動局と連携して、東日本大震災に対する支援活動を行いました。3月26日（土）緊急街頭募金活動（鹿児島市）※党員・サポーターの皆様を中心に、30名以上の方にご協力頂きました。3月28日（火）被災地支援活動（岩手県塩釜市）※トラッ

クによる支援物資搬送、現地視察・ヒアリングなどを行いました。10月30日投開票の奄美市議会議員選挙で、街宣車の運行や街頭演説等を展開した結果、党公認・推薦候補者が全員当選しました。(鹿児島)

- ・ 議会前の定期的な情報交換、一般質問等の傍聴、四国青年局の役員会及び総会開催、各選挙への応援(香川)
- ・ 選挙時の遊説等の応援、時節的な街頭宣伝活動(新成人おめでとう街宣など)、東日本被災地ボランティア活動、政策研究会、他委員会研修等への積極的参加(栃木)
- ・ 7月11日 道連青年局会議開催(札幌市) 地方議員13人参加、今後の活動内容を討論、交流会実施。  
12月10日 第12区総支部青年局との意見交換会開催(網走市) 第1部で講演(80人参加)、第2部で意見交換(10人参加)、交流会実施。(北海道)
- ・ 特になし(岩手)
- ・ 宮城県内、自治体議員選挙の応援なし(宮城)
- ・ 若者向け党员・サポーターの拡大活動、各種団体との連携強化を目的とした研修交流会の開催、若者の政治参画を目した街宣活動の実施、今年はローカルマニフェスト2011「やまがた未来コンパス」の完成を機に1月30日、山形市内で街頭宣伝し配布した。(マニフェスト検討委員会と合同)(山形)
- ・ 青年局としての活動を行っておりません。(該当する年齢の地方議員が少ないため) 今後、該当する議員が増えて参りましたら、諸活動をしてまいりたいと思います。(三重)
- ・ 過去の取り組みは特段なし。現在、取り組みを検討中。(福島)
- ・ 東日本大震災による被災地、被災者への支援ボランティア、県内公認候補者への選挙応援、婚活支援、自治体議員同士の意見交換会、学生インターンの受け入れ(茨城)
- ・ 県連としては、青年部としての活動はしていません。活動は、各総支部ごとに任せています。(群馬)
- ・ 青年局という単独の局は設置していません。しかし、県連内に設置している市民、青年局が青年部門を兼ねており、党本部に要請に基づき、必要に応じて該当者に要請して



いる。本来の活動は、NPO との意見交換会・視察や様々な企業などで働いている方々（40歳未満）と情報交換会を開催している。（埼玉）

- ・ 時事テーマに即した機動的な街頭演説実施（該当募金、署名運動、マニフェスト達成時、など）例年行っている（葉山ビーチクリーンキャンペーンや JA あつぎとの婚活支援事業など）ような県民の方々と共に企画し行動するイベント。（神奈川）
- ・ 定期勉強会、懇談会、街頭活動など（山梨）
- ・ 別添議案書をご参照下さい（東京）
- ・ 12/3 開催した第 14 回定期大会において、新年度に青年自治体議員（45 歳以下）の交流会を行い、活動等について意見交換することを確認した。また、例年成人の日に合わせて、新潟市の成人式会場周辺で街宣活動を実施しており、来年は 1/9 に行う予定。（新潟）
- ・ 名前だけです。計画的な活動はしておりません。（富山）
- ・ 基本的には石川県連内での交流と各種取り組み。党中央の動向もあるが各担当地区で街頭を中心に活動中（石川）
- ・ 「民主党政治スクール in 信州」の運営、「信州マニフェスト 2011」の政策調査、査定、県連の各種行事、事業の運営他（長野）
- ・ 岐阜県連での委員会名は「男女共同・青年委員会」としてしています。活動状況については、全くしておりません（他の委員会も）（岐阜）
- ・ 青年局（青年委員会）は実施しておりません。よって役員体制や取り組みも行っておりません。（愛知）
- ・ お金をかけない自主的な勉強会（県立医大での妊産婦たらいまわし問題、有機農業現場視察など）、東北被災地でのボランティア活動及び募金活動、奈良県古野郡被災地でのボランティア活動、街頭演説（奈良）
- ・ 近畿ブロック青年委員会勉強会への参加、政治スクールの開催、ローカルマニフェストの作成（和歌山）

- 中国5県で「クラブデモクラッツ中国」を設立、研修会や選挙支援を行っている。県連として来春開校予定の政治スクールの担当を努める。(広島)
- デモクラッツ中国との連携(山口)
- 四国青年局を組織して取り組んでいる(高知)
- 九州ブロック段階でも青年局などの動きはなかったと思います。これから立ち上げに協力をしたいと思います。(大分)
- 2011/8/27開催のクラブデモクラッツ中国定期総会において2011/7～2013/6までの任期の役員改選を行う。通常単県で代表及び幹事長を選出すべきところであるが、鳥取及び島根両県は議員数が少ないため合同で担当することとし、代表に鳥取より柗泰弘、幹事長に珍部芳裕と決定する。当面の活動目標として、2011/5改選の山口県周南市議会議員選挙においてクラブデモクラッツ中国メンバーの高松勇雄議員の応援体制を構築することを確認したところである。
- 対象となる議員が3名のみのため、実際の活動は難しいのが現状である。(鳥取)
- 中国地方の他県との定期的な会合や勉強会を行っています。デモクラッツ中国という名称で地方議員、議員秘書で構成しています。県連単体では、2名しか若手がないので、鳥取県と連携して定期的な意見交換を来年から始める予定です。鳥取も2名です(島根)
- 民主党中国地方の青年組織であるクラブデモクラッツ中国での活動を主体にしている。今年は8/26に幹事県である岡山県内で行政視察ならびに意見交換会、27には総会を開催した。行政視察では岡山県真庭市役所を訪問し、バイオマスタウン真庭の取り組みを視察し、現地視察もさせて頂いた。また、意見交換会では、地元の連合の青年関係者や地区協議会の皆さんとの意見交換会を開催した(岡山)
- 四国4件の青年局合同で「民主党四国青年局」を設置しています。今年の統一地方選挙で主要メンバー3人が落選しており、本年は特筆すべき活動ができていないのが現状です。来年の活動に向け、残るメンバーと協議中です。(徳島)
- 議会前の定期的な情報交換、一般質問などの傍聴、四国青年局の役員会および総会開催、各選挙への応援(香川)

- 民主党福岡県連学生部と連携し、「県民に民主党の理念、政策、および実績を認識してもらおう」という活動を展開。県連独自の議員インターンシップ制度創設にむけての検討。統一選挙時に選挙支援策を検討するアンケートを実施。分析結果とともに県連政策調査会と連携し必要な支援策を提案。連合福岡青年部政治学習会の企画および参加。NPO 法改正に伴い県内関係団体を対象とした意見交換会の実施（福岡）
- 県連青年局は、実質的に昨年立ち上げた。これまでの活動としては成人の日街頭宣伝活動の実施、県連政治スクールの主催、夏季県内遊説キャラバンの実施、年末年始遊説キャラバンの実施、定期的に青年局メンバーでの懇親会なども開催している（宮崎）
- 2011年12月に第一回青年局準備会会合開催（佐賀）
- 例年は該当演説への積極的な参加や実施、京都府内一円キャラバンなど、街頭宣伝活動を実施。今年からは近畿ブロックの青年議員同士での連携（研修会やお互いの会議への傍聴出席など）連合京都青年委員会との交流（お互いが主催する活動への相互参加）など他の組織との連携を進めている（京都）
- 政治スクールの開催、政策・他業界勉強会、近畿ブロック交流会（11月上旬に決定。担当は大阪府連）、（必要に応じて）被災地ボランティアやその他お役にたてる活動）（兵庫）
- 各種選挙応援、駅頭を中心とした県内キャラバン、先進自治体の視察、講演会の実施、他団体との交渉（千葉）
- インターンシップ、各地域の行事に参加し若者たちとの交流を深める、若手異業種交流などを予定していたが、今現在、取り組めていないのが現状です。（沖縄）
- 昨年は、第2東名高速道路視察、参議院選挙集会手伝い、マラソン大会参加、街頭活動、県議補選支援等。本年は、県内を3ブロックに分け、東部、中部、西部で、議員だけでなく、党员・サポーターも含めた意見交換会の開催を企画。党员・サポーター登録者のうち、青年局対象者のEメールアドレスを整理。以後、青年局主催のイベントには、Eメールでの連絡を使用する考え。業界団体青年部との交流会も準備中（JA 県青年部、商工会青年部、等々）（静岡）

## ② 党本部青年局へのご意見、ご要望など

- ・ ブロックごとに、イベントを行ってほしい。国会議員と若手地方議員、そして、学生等による、勉強会の場、懇親会など、交流の場。(滋賀)
- ・ 1. 地方議会制度、公務員制度、政党政治について、海外事例を学べるような視察ツアーを主導して欲しい。(費用は参加者負担で) 2. 諸団体、友誼団体の青年部(局)との交流ができるように、仲介して欲しい(大阪)
- ・ 本部の執行部が変わるたびに、青年局活動の方向性が見えなくなり、地域の青年局に全体的な活動方針が伝わっていないと思います。民主党としての特性を活かし、若者向けの政策やメッセージをどんどん発信すべきです。体制の脆弱な地域への物心両面での支援も必要と思います。若手地方議員や地域の青年局メンバーの声や要望を本部青年局で吸収する努力が必要だと思います。(徳島)
- ・ 県内在住の若年層・学生などとの連携をしていきたいと考えています。他都道府県連の活動事例等を教えてください。また、その際の党本部からの支援などについても教えてください。地域主権の確立という視点を踏まえての青年局ブロック会議にもして欲しい(鹿児島)
- ・ 大変恥ずかしながら、今まで秋田県連に若い地方議員がいなかったため青年局がありませんでした。先の統一選で若い2人が県議選に初当選し、この機会に青年局を立ち上げることにいたしました。ご指導くださるよう、よろしくお願い申し上げます。(秋田)
- ・ 他地域の情報発信、総会開催時の講師派遣、全国集会や交流会、視察の企画(香川)
- ・ 東京都連青年委員会は年齢制限を40歳以下にしているのにも関わらず、全国の民主党所属青年議員の約半数近くにあたる議員が所属する、民主党最大の青年組織です。(現在97名所属)東京都連青年委員会は、全国の民主党青年組織を牽引する存在であると自負しております。しかしながら、民主党本部は党本部青年局に対して様々なサポートをしておりますが、東京都連青年委員会にはほとんど無いのが実情です。民主党組織の未来を担う青年組織に対し、権限や財源をもう少し拡充していただければ、さらなる活動の充実を図ることが可能となります。国会のように恵まれていない地方における青年組織への支援拡充を図り、それぞれの地方の状況に応じた活動を後押しすることが、民主党の党勢拡大には間違いなく有効な手だてだと思います。党本部青年局は、地方の青年組織が有効かつ効果的に活動できるようにサポートをする組織に変革をしてはい

かがでしょうか？（東京）

- ・ 北関東ブロック共催活動に、中央青年局より講師の派遣等支援を。被災地支援の組織的促進（栃木）
- ・ ブロック会合については大変歓迎します。若者を対象にした民主党青年局主催の各ブロックでの行事の開催。都道府県の青年局担当者が一堂に会する「全国青年局会議・交流会」の開催。都道府県間、地方間における青年局の交流の支援。民主党青年局のホームページが更新されておらず、内容が古すぎるので更新してください。（北海道）
- ・ 検討中（岩手）
- ・ 従前は、活動経費として年間 10 万円の交付金がありましたが、今年はありません。青年局メンバー拡大が際めて困難でもありますが、オブザーバーとして年齢枠を広げた地方議員や議員秘書の協力を得て活動を行っております。今後、継続的に計画的に活動していくために、特段の物心両面でのご支援をお願いしたい。（山形）
- ・ 協力は致します（福島）
- ・ 党本部青年局として、独自の取り組み、存在感を発揮してほしい。自民党の小泉進次郎さんを見習って欲しい。党本部青年局として、全国各地域で勉強会などを開催してほしい。（茨城）
- ・ 地方における青年局の活動指針を策定して、日常活動で取り組めるよう検討すべきである。（神奈川）
- ・ 定期的な青年局活動、または会合で全国的な連携の強化。地方議会人創出（次世代を見据えた仲間づくり）強化（山梨）
- ・ 北信越ブロック 5 県は、関西圏、関東圏、東北圏に分かれており、ブロックとしての認識（一体感）がほとんどないのが実情。本部方針の北信越ブロック会議（12/4）は初めての開催であり、全国ブロック一律での青年ブロック会合には疑問が残る。むしろ、全国青年担当者会議などを定期的で開催し、国政選挙などに向けて青年層の政策（充実）討議や活動報告、意見交換などを参考に県連としての具体的な活動や実践していくことが必要ではないか。（新潟）

- ・ 選挙応援（街宣、弁士など）（富山）
- ・ 各種取り組みを行いたい、以前まで党本部から支給されていた活動資金がなくなったため、活動も縮小してきている。民主党は若い議員が多いというイメージを最大限生かすために青年局の活動について支援をお願いしたい。全国の局員との交流を深めていきたいが、女性局の会議があるのに青年局の会議がないので、定期的に行って欲しい。（石川）
- ・ 青年局の議員が多い県はともかく、3名しかいない福井県連では、若手を中心に運営している政治スクールに専念したい。できれば、青年局としての予算もそちらに回したい。（福井）
- ・ 地方自治体の自己完結型行政には限界があり、今後広域的な連携は必要不可欠だと考えます。大阪だけを見ても変わっていく中で今後の基礎自治体のあり方や都道府県のある方を含め維新の会でなく民主党こそが早急に描くべきです。例えば関西であれば石井一先生の危機管理構想の勉強会をして頂きたいです。（奈良）
- ・ 小所帯ですが、小さいながらもこつこつ活動しています。（和歌山）
- ・ 地方の民主党組織の県連の中には単独での青年局活動が難しい部分がありブロック単位の助成も必要（山口）
- ・ 第一回開催に続く青年局全国研修会を開催されたい。（高知）
- ・ 青年委員会メンバーを一度指名しましたが、県連としての「指導」が思わしくないもので、何も活動できていません。次年度は、大分県連も青年局などの動きを活発なものにしたいと思います。（大分）
- ・ 党本部から指導・要請などがあれば活動しやすくなると思います（鳥取）
- ・ 中国地区はすでに組織化されているので、各県連にではなく、デモクラツ中国に活動費を交付していただきたいです。県連単位だと管理が手間です。若手の候補者への資金面のバックアップがあればありがたいです。（島根）
- ・ 首都圏などの都会に比べて、中国地方の議員などメンバーが集まる場合、交通費がかかる。クラブデモクラツ中国は、地方でのモデルケースのひとつとして、党本部からも

評価をいただいている。現在、各都道府県ごとに青年局関係の予算が一律に分配されているが、真面目に活動しているところには追加での経済的な支援をしてもらえたら助かるというのが意見として上がっている。(岡山)

- 本部の執行部が変わるたびに青年局活動の方向性が見えなくなり、地域の青年局に全体的な活動方針が伝わっていないと思います。民主党としての特性を活かし、若者向けの政策やメッセージをどんどん発信すべきです。体制の脆弱な地域への物心両面での支援も必要だと思います。若手地方議員や地域の青年局メンバーの声や要望を本部青年局で吸収する努力が必要だと思います。(徳島)
- 他地域の情報発信、総会開催時の講師派遣、全国集会や交流会、視察の企画(香川)
- 昨年の成人の日は全国一斉活動を行うとの要請で、党本部青年局からビラが大量に届いた。しかし、裏面の記載が党本部でのインターンシップ参加を呼びかける内容で、配布を検討したが、宮崎から通いようもないものを配布することは、あまりに「地域に根ざしていない」活動と思われるとの反対意見が多数出た。広報機材はありがたいが、裏面は県連青年局に作成させて、費用を補填するなど、現場で使いやすい機材にしてほしい。地方組織でもブロック会議が始まったが、青年局も全国での交流より隣県との日常的な交流の足場を作れるように、ブロック単位での交流の場作りを優先させて欲しい。(宮崎)
- 各都道府県連青年局での活動内容について、党本部青年局が積極的に理解し、各都道府県連との交流・情報交換を行って欲しい。各地域での請えや活動をもっと国会議員の方にはわかっていただきたいが、地域の声や実情をきくことができるのは(フットワークなども含め)青年の国会議員しかできないことだと思う。(京都)
- 従来、国会議員から国政の動向や政策についてお話を聞くことが多いのですが、逆に、国会議員の皆さまに対して、地方議員から地方政治の状況や悩みについてお話をさせていただきことも国会議員にとっては、選挙区である地方政治の現場について、もっと深くご理解いただけたらと思います。また、国会議員との間には、精神的に、また業務上・政策推進上で距離があると感じています。国・県・市町の各級の政策のすり合わせや、相互の状況報告を民主党全体として進めていく必要があると思う。青年局活動では、どうしても懇親会などが多くなりますが、ただ単に酒を酌み交わすことだけではなく、上記のような懸念について、しっかりと取り組んでいただければと思います。(兵庫)
- 政務調査費のない自治体議員が、政党のスケールメリットを感じられる政党活動を行っ

て欲しい。SNSなどを活用した、政策。意見書。一般質問等を共有するシステムの構築。  
青年局として、党本部への要望活動。青年局九州ブロックの確立の取りまとめ（佐賀）

- ・ 党本部青年局と千葉県連青年局委員会との意見交換会をお願いします。（千葉）
- ・ 活発な取り組みをしている青年局があれば、紹介していただきたい。また、各青年局の交流会を開催してもらいたい（沖縄）
- ・ 学生に対する対応、取組事例等ご紹介願いたい。他県連の青年局での優良参考事例等があれば、ご紹介願いたい。（静岡）

## 2. 2011年からの活動実績＜時系列＞

2011年		
月	日	活動内容
9	19～22	英国訪問：英国保守党青年委員会との交流（津村局長）
	29	定例会議
10	2～7	タイ、ベトナム、カンボジア訪問：各国各政党青年組織・議員（JENESYSプログラム参加者）と懇談（森山事務局長・高邑次長・松岡次長）
	28	定例会議
11	5	定例会議
	9	定例会議
	15	学習院大学ゼミ民主党・国会研修（講師：長妻衆議院議員）（津村局長）
	29	定例会議
	30	居酒屋 ivote 参加（津村局長）
12	1	Facebook ページ開設
	6	定例会議
	10～12	台湾訪問：国民党、民進党の青年部議員との意見交換（津村局長）
	20	学生部戦略会議・学生交流会（約80名参加）
	28	定例会議
2012年		
月	日	活動内容
1	9	都連合同「成人の日」遊説（渋谷：約20名参加）
	13	青少年団体並びに社会教育関係者などによる新年互礼会（津村局長）
	17	定例会議



月	日	活動内容
1	25	定例会議
	31	J A青年部訪問・全国青年協議会出席（津村局長・小山代理）
2	8	定例会議
	14	定例会議
	15	学生インターンシップ開講式（約 30 名登録） J A青年部大会（小山代理）
	20	全国青年局長委員長会議・青年局宣言決定
	22	定例会議
3	1	定例会議
	6	学生インターンシップ中間研修 （運舩議員講演、官邸訪問、秋葉原での遊説）
	7	ベトナム若手政治関係者との意見交換（森山事務局長）
	13	定例会議
	21	定例会議
	22	学生インターンシップ懇親会
	23	学生インターンシップ修了式
	26	定例会議
4	3	台北駐日経済文化代表処訪問（津村局長・森山事務局長）
	10	定例会議
	13	中国ブロックキックオフ会議（山口県周南市）
	15	南関東ブロックキックオフ会議（神奈川県横浜市）
	18	居酒屋 ivote 参加（津村局長）
	23	都連協力による学生部街宣（高田馬場）
	24	定例会議
5	8	定例会議 青年議員交流会（ホテルニューオータニ：約 70 名参加）
	9	地方自治体議員フォーラムで活動について報告（津村局長）
	21	定例会議
	25	学生交流会（約 90 名）
	26	沖縄九州ブロックキックオフ会議（福岡県福岡市）
	30	定例会議 東京都連青年委員会第 5 回総会（東京都新宿区）
6	2	近畿ブロックキックオフ会議（兵庫県神戸市）
	14	定例会議

月	日	活動内容
6	16	北海道ブロックキックオフ会議（北海道札幌市）
	27	学生部ワンデーインターンシップ（約 25 名） 定例会議
7	9	定例会議 全国青年局長・委員長会議・ミャンマー若手政治家訪日団交流会
	14	四国ブロックキックオフ会議（高知県高知市）
	16	東北ブロックキックオフ会議（宮城県仙台市）
	17	北陸信越ブロックキックオフ会議（石川県金沢市）
	30	北関東ブロックキックオフ会議（衆議院第一議員会館）
		定例会議
8	20	定例会議
	21	高校生企画「僕らの一歩が日本を変える－高校生 100 人×国会議員－」 （津村局長、森山事務局長）
		One Voice キャンペーン（津村局長）
9	3	（予定）定例会議
	3～4	（予定）11 ブロック世話人会議（衆議院第二議員会館、都市センターホテル）
	10	東海ブロックキックオフ会議 ※地方議員フォーラムと同時開催を予定

### 3. 東京都連青年委員会の活動報告

○東京都連青年委員会の設立は 2005 年。40 歳までの都連所属議員、国会 4 名、都議 18 名、区市町議 72 名、総勢 94 名で構成されている（2012/7 現在）。

「世の中を変えてきたのは、いつの時代も若い力と行動力」という理念のもと、青年議員自らが提案し行動することで「世の中を変える」だけではなく「新しく創る」役割を担っていく存在だと認識しながら、大学局、交流局、遊説局、広報局の 4 局を運営している。

#### ① 組織について

##### （1）大学局

大学局では、今年で 6 期目となる民主党大学東京という政治スクールを運営している。民主党大学東京からは、多くの市長や地方議員を輩出するだけではなく、民主党の理念や活動に共感し共に活動していただける地域コミュニティリーダーも輩出。第一期～第四期の修了生の中から、柏市長と 20 名以上の地方議員が誕生している。

## (2) 交流局

交流局では、支援団体である連合東京青年委員会と積極的な交流活動を実施している。新潟県南魚沼郡への「雪かきボランティア活動」、「ワークライフバランス事業(婚活イベント)」は、恒例行事となっている。

昨年は、宮城県石巻市において、大街道花火大会を支援するボランティアツアーを実施した。

## (3) 遊説局

遊説局では、毎年恒例の成人式遊説に加えて、各級選挙における青年議員の応援遊説を中心に実施している。昨年は、民主党代表選挙を前に、国民世論の盛り上がりを目的とした街頭演説会を開催した。

## (4) 広報局

主要 3 局の横断的な組織として、民主党大学のチラシ作成や都連青年委員会のホームページの運営等を行っている。

## ② 党本部青年局および他ブロックとの連携について

青年委員長（たきぐち学都議）、幹事長（小山くにひこ都議）が、党本部青年局の役員となったことを受けて、党本部青年局や他ブロックとの連携、交流を進めている。これまでの取り組みは次のとおり。

- ・成人式街宣@渋谷ハチ公前（2012/1/9）。党本部から、津村啓介局長、岡田康裕局長代理、森山浩行事務局長にご参加いただく。
- ・第一回全国青年局長・委員長会議（小山くにひこ幹事長）、懇親会（たきぐち学委員長、中村ひろし大学局長、関口太一交流局長、柳ヶ瀬裕文遊説局長ほか）
- ・青年局、学生部、都連青年委員会（遊説局）の合同街宣@高田馬場（2012/4/23）。
- ・兵庫県連 青年委員会と都連青年委員会（交流局）交流会@赤坂（2012/5/9）。
- ・学生部主催の学生議員交流会に出席@赤坂（2012/5/25）。
- ・2012 年度総会@新宿区役所。  
党本部から、津村啓介局長、岡田康裕局長代理、森山浩行事務局長、近畿ブロックから栗山雅史兵庫県議、竹内忍一吹田市議会議長にご参加いただく。
- ・近畿ブロックキックオフ会議に出席@三宮（2012/6/2）。
- ・「大学生&若手社会人×民主党青年議員 マニフェスト検証座談会」@党本部（大学局）。津村青年局長にご参加いただく（2012/6/4）。

- ・第二回全国青年局長・委員長会議（たきぐち学委員長、西沢けいた交流局長代理）、懇親会（中村ひろし大学局長、田中健交流局長代理）。

今後も、東京で開催される会議や懇親会には、都連青年委員会の役員に限らず、所属議員が参加できる機会をつくっていく方針。



<参考> 被災地支援（宮城県石巻市）の様子

#### 4. 近畿ブロック青年委員会議の経過と活動

○民主党近畿ブロック青年委員会議は、党本部青年局からブロック単位のキックオフ（設立）を依頼される以前から、大阪府連・京都府連・兵庫県連が中心になって近畿各府県連に所属する青年議員が自発的に集まり、それぞれ交流と連帯を深めた。2012年6月2日のキックオフ会議を経て、有志の集まりから正式な党の機関となった。

##### ① 活動報告

(1) 第1回近畿ブロック青年委員会議（実質のkickoff会議）

平成23年11月5日（土） 神戸市ラッセホール

- ・石井登志郎衆議院議員によるマニフェスト検証講演
- ・定例開催することを決定（次回大阪）

(2) 近畿ブロックkickoff準備会

平成24年3月23日（金） 神戸市ラッセホール

- ・共同代表の選出
- ・兵庫県連主催でkickoffを実施
- ・予算の使い方を一任等を決定

(3) 近畿ブロックkickoff会議／第2回近畿ブロック青年委員会議

平成24年6月2日（土） 兵庫県連青年局主催

- ・人と防災未来センター視察
- ・同センター講師による講演
- ・総会@ANAクラウンプラザ神戸

<総会での決定事項>

- ・党本部からの交付金50万円の使途
- ・党本部届出の代表世話人及び会計担当者
- ・近畿ブロック各青年委員長・局長が近畿ブロック青年委員会議の役員となること
- ・党本部青年局のモデル地域として、積極的な発信に努めること等を決定

② 活動予定

(1) 第3回近畿ブロック青年委員会議

平成24年10月27日（土） 大阪府連青年委員会主催

⇒詳細未定

③ まとめ

近畿ブロックがまとまることになった原動力。それは・・・！？

- ・平成14年9月川西市議会議員選挙で越田けんじろう氏が当選したこと。

- ・平成 15 年 4 月統一地方選挙で多くの若手議員が誕生したこと。
- ・民主党がまだ未成熟な政党で旧〇〇党の烏合の衆から、生え抜き民主党への過渡期に
- ・府県連の枠組みを超えて相互交流や選挙応援がおこなわれたこと

## 5. 青年議員と Facebook の新しい関係

○青年局宣言と活動方針の中で、青年局は、インターネット特に Facebook を活用し、積極的な情報発信を行うとともに、全国 47 都道府県連の青年組織の活動を互いに情報共有することを目標とした。Facebook 上に 3 つの「グループ」を開設した。

### ① 3 つのグループについて

#### (1) 民主くん（民主党青年局）

活動の広報、周知を通して、国民・有権者への理解を促し、支持者層の裾野を広げる目的で設定

- ・だれでも閲覧可能。OPEN 設定。
- ・民主党青年局の活動および、各都道府県連青年組織からの活動報告を自由にアップするもの。

#### (2) 民主党青年局

所属議員間で情報を交換しながら、各自の取り組みを自己点検することを目的とする。地域活動、議会活動、党活動など、他県連の動きが分かる効果あり。

- ・民主党所属の青年議員ならどなたでも登録可能。CLOSE 設定。
- ・民主党青年局の活動および、各都道府県連青年組織からの活動報告を自由にアップする。内部連絡、調整などの役割あり。

#### (3) 全国青年局長・委員長

党本部、国民運動委員会、青年局と全国 11 ブロック会議、全国青年局長・委員長の情報共有(交換)を通して、意思決定のための材料を得ることを目的とする。ご意見、ご要望、ご指摘については本部青年局会議で議論する。

- ・本部青年局および全国 47 都道府県青年局長および委員長のみ閲覧可能。SECRET 設定。
- ・民主党青年局の活動および、各都道府県連青年局長および委員長の情報交換、情報共有の場として活用できる。全国 11 ブロック会議の情報も掲載する。

※ 3 グループ運用上の注意事項

- ・ OPEN、CLOSE、SECRET の棲み分け
- ・ 管理人の選定、内容のチェック
- ・ 党の方針と議員個人の自由な発信との関係
- ・ 広範な国民、有権者への訴えになっているのか
- ・ 内部連絡のツールとしての利点
- ・ 内部連絡のツールとしての限界
- ・ 登録に抜けや漏れはないか 要件の変更など
- ・ 他に適切なカテゴリー設定はないか、時点修正

② FB 活動の今後の可能性

現行運用を踏まえて、これからの青年議員と FB と可能性は無量大であり、以下のルールに沿って有益にかつ積極的に活用していきたい。

- ・ 所属議員の f b 登録率を高める
- ・ 良質な情報の提供に努める
- ・ 所属議員間の発信から学ぶ
- ・ 手間を惜しまない
- ・ 写真や文章など、見せ方を工夫する
- ・ 適宜の更新を心掛ける
- ・ 地理的、時間的な制約がない利点を活かす
- ・ マナーと節度をもって他者に接する
- ・ リアルタイム発信
- ・ 写真や動画など、圧倒的な情報量
- ・ 都道府県連の枠組みを超えた交流が可能に
- ・ 議員活動以外の日常も知る機会に
- ・ f b 以外の実際のコンタクトツールも大切に
- ・ f b に入らない人達をどうやって巻き込むか！？
- ・ 情報の複眼的な把握ができる
- ・ f b 発信のために、更に一歩取り組みが進む

**6. 青年局ホームページについて**

○2001 年より青年局活動の発信ツールとして更新されてきたが、2011 年～2012 年 3 月まで実質更新されず、休止状態に至ったが、2012 年 6 月より内容を更新し再公開に至った。

一方で、党本部のホームページが新システム・サーバに移行しており、男女共同参画局など今年度より順次移行を進めていることから、青年局についても来年度中（2013年中）の移行・リニューアルの作業が必要と思われる。

旧システムでは更新をすべて業者に依頼する必要があるが、新システムにおいては、活動報告などは独自に更新ができるようになる。

#### ① ホームページの構成

ホームページは主に、①本部青年局の構成と紹介、②本部・ブロック・都道府県青年局の活動紹介、③国会議員・地方議員のブログの紹介、④政治スクールの紹介で構成されているが、③についてはすべてを網羅するに至っていない。

#### ② 今年度（～2012年12月末）までの作業

本年度は予算計上の都合上、上記②を中心に必要な更新と現行コンテンツの充実と、来年度のリニューアルに向けた新コンテンツの検討、必要経費の見積もり、次年度予算の確保が必要になる。次年度予算の検討にあたっては、日常の管理費に加えてリニューアル費用を見積もる必要がある。

#### ③ 来年度の作業（2013年1月～）

党大会において予算承認が得られ、必要な手続きが終了次第、広報委員会の Web 担当と連携し、リニューアルと新システム・サーバへの移行へ作業を進める。

新ページのコンテンツとしては、現状の（1）本部青年局の構成と紹介、（2）本部・ブロック・都道府県青年局の活動紹介、（3）国会議員・地方議員のブログの紹介、（4）政治スクールの紹介に加え、ブロックや都道府県青年局についての紹介のページなど必要なページの追加が必要と考えられる。

## 7. 国際交流

○外交関係は米中はじめ各国が行っているように、政府レベルのものと同時に、政党レベルでも国際局と連携して活発化することを目指す。

青年局では「青年交流」を主とし、国交のない台湾との関係には特に留意する。

#### ① 活動報告

##### （1）メコン各国訪問交流

<日 時> 平成 23（2011）年 10 月 2 日～6 日



<訪問先> ベトナム・タイ・カンボジア

<参加者> 森山事務局長・高邑代議士・松岡代議士

前年度のラオスに続き、「21世紀東アジア青少年大交流計画（JENESYS）」参加者である各国の若手政治家・官僚・企業家ら約50名とそれぞれ現地で懇談、政党幹部と面談。それぞれ関係強化を確認 ※別添報告あり

※なお、7月9日の全国青年局長会議には JENESYS で来日中のミャンマー政治リーダーを迎え、交流。

(2) 英国保守党青年組織関係者との面談（津村）

<日程> 平成23（2011）年9月19日～22日

<訪問先> 英国

<面会者> ジェレミー・ハント氏

（文化・オリンピック・メディア・スポーツ大臣/保守党）

ベン・ハウレット氏（コンサバティブ・フューチャー代表）

オックスフォード大の学生政治組織：OUCA（Oxford Univ. Conservative Association）出身のハント氏と保守党の若手政治組織：CF（Conservative Future）代表のハウレット氏とそれぞれ面会し、英国保守党における青年組織についてのヒアリングを行った。

(3) 台湾・国民党、民進党青年部関係者との面談（津村）

<日程> 平成23（2011）年12月10日～12日

<訪問先> 台湾

<面会者> 林奕花氏（国民党青年部主任/台北市議）

李政毅氏（民進党青年部主任）

国民党、民進党青年部関係者それぞれに面会。各党の青年部の活動状況をヒアリングし、後刻、民主党青年局として訪台することを約束した。

※（2）（3）とも、別件の出張に絡め、津村一人で訪問したこともあり、それぞれ外務省の担当課にアポ調整を依頼した（欧州局西欧課、アジア大洋州局中国モンゴル課台湾班）。党青年局として渡航する際は、党国際局と相談する必要があると考える。

※なお、4月3日、台北駐日経済文化代表処に津村局長、森山事務局長で訪問、今後の訪台にむけた打ち合わせ。9月4日、青年局役員・ブロック世話人らで同処を訪問し、

日台関係について勉強会開催、次年度訪問への打ち合わせをする予定。

② 次年度以降への引き継ぎ事項

- ・ JENESYS 関連事業継続（訪日団接受、各国訪問）
- ・ 台湾訪問（継続事業としての第一回）
- ・ 英国ほか各国訪問への可能性模索

## 8. 学生部

○民主党学生部は、2009年7月、鳩山由紀夫代表（当時）の承認により民主党内に発足した。

衆・参両院議員事務所での長期インターンを経験した学生を中心に組織しており、議員インターン・政策勉強会・街頭演説・学生議員交流会・研修（国内・海外）など様々な企画を実施している。

① 活動指針

- ・ 若者が政治に興味を持てるような機会の提供
- ・ 若者に当事者意識をもたせ、自立した有権者に成長する機会の提供
- ・ 若者世代が蔑ろにされない政治が行われるよう政治・政治家に働きかける
- ・ 学生部スタッフも成長できるような機会の提供

② 組織

代表を最高責任者、代表・事務局長・副代表・代表代行の4名を役員とし、その他8名を含む計12名（2012年8月現在）の企画実行委員会委員で活動

③ 活動報告

(1) インターンシップ

・ 2012年度春期インターンシップ

2012年2月15日～3月23日の5週間、政治・政治家を身近に感じてもらうことを目標とし関東地方を中心とする大学生・大学院生23名を受け入れ青年局所属の国会議員事務所と連携をとり、約5週間に渡るインターンシップを実施。

国会議員・国会議員秘書の講演会（菅直人前内閣総理大臣・蓮舫参議院議員 etc）や街頭演説、国会・官邸見学（藤村修官房長官）・野田佳彦総理大臣との面会を行った。

・ 2012年度夏期インターンシップ

2012年8月17日～8月31日の2週間、大学生・大学院生を受け入れ実施予定。春期インターンシップは国会議員事務所において政治を身近に感じてもらうことを目標にしているのに対し、夏期インターンシップはより政策を学ぶ機会の提供を目標に政策別のゼミ形式で行う。

また各ゼミには専属国会議員に指導役としてついてもらう。

・第1回 Oneday インターンシップ

2012年6月27日午後13:00～20:30に実施。

oneday インターンシップは、長期インターンシップに参加できない学生から1日完結型のインターンシップを行って欲しいとのご要望を受け企画。今回の oneday インターンシップでは、稲富修二衆議院議員による講演・グループワーク・国会見学・学生議員交流会を行った。

(2) 学生議員交流会

昨年12月末に第1回行い、本年5月25日にも第2回学生議員交流会を開催した。高校生・大学生・大学院生 計65名の参加があり、菅直人前内閣総理大臣を筆頭に西村智奈美厚生副労働大臣や城井崇文部科学大臣政務官など国会議員7名 民主党東京都連所属の滝口学都議会議員など6名の地方議員にも参加していただいた。

(3) 街頭演説

2012年4月23日に第1回街頭演説会を都内高田馬場駅前で行った。

青年局及び東京都連との共同企画であり、学生部メンバー2名が路上・街宣車上で演説した。

(4) 講演会

2012年6月2日に岡田克也副総理を中央大学多摩キャンパスにお招きし、「社会保障と税の一体改革」をテーマに内閣官房と共同で開催。定員200名程の会場に約250名を越す学生・一般の方にご参加いただいた。

(5) 党本部関連

2012年1月16日に開催された民主党2012年定期大会や2012年5月8・9日に開催された地方自治体議員フォーラムにおいてスタッフとして党務のお手伝いを行った。

(6) その他

2012年8月末に防衛大学校を訪問し、施設見学や日々厳しい訓練に取り組み、将来わが国の国防を担う幹部自衛官となる防衛大学校在學生との意見交流会を行う予定。

④ 今後の活動のあり方について

参加者の集客について課題点がある。特に外部向けのイベントを行う際、集客が難航し開催が危ぶまれたイベントもあった。改善方法として現在考えている事項は以下の2点。

- ・ 学生部認知度の向上
- ・ イベント参加者募集期間を可能な限り長期間設定する

※学生部 HP <http://student-union-minsyuto.jimdo.com/>

## 9. 若者との交流

○ 20代の若者に政治に興味をもってもらいたい、未来を担う彼らが生の政治（家）に触れることにより、投票に足を運んでもらいたい、そんな思いから、若者との交流に意識して取り組んだ。

### ① 活動報告

#### (1) 居酒屋 ivote への参加

20代の投票率向上を目指す学生団体 ivote(アイ・ヴォート)の企画。日ごろの居酒屋飲み会に政治家を招き、気軽に話す中で政治への関心や興味を引き出すことを目的としたもの。各政党の青年局に案内が送られており、年に数回のペースで開催されている。

- ・ 2011年11月30日 坐・和民 新宿5丁目店にて  
学生は40名強、各党青年局から、宇都隆史（自民）、川田龍平（みんな）、津村啓介（民主）が参加。
- ・ 2012年4月18日 坐・和民 渋谷神南店にて  
学生40名強、各党青年局から、石川博崇（自民）、山下芳生（共産）、津村啓介（民主）が参加。

#### (2) 学習院大学・ゼミ研修受け入れ（国会見学・研修）

2012年11月15日 学習院大学法学部・飯田ゼミ来訪（約15名）。局長あいさつ後、見学（国会、党本部、党国対）へ。研修として長妻昭議員からの講話を提供した。

#### (3) 成人の日遊説

2012年1月9日渋谷にて、都連と合同で新成人に向けた遊説を行った。

- (4) 帝京大学インターンシップ受け入れ  
大学が在校生に提供するインターンシップ（夏休み期間）の受け入れ先として、青年局所属議員の事務所を登録。党本部を通じて依頼あり。
- (5) 高校生企画「僕らの一歩が日本を変える－高校生100人×国会議員－」への参加  
2012年8月21日 衆議院第一議員会館多目的ホールにて開催。  
高校生の学生団体の企画。高校生120名と各党代表者（小泉進次郎（自民）、福島みずほ（社民）ほか他党からも国会議員の参加あり）が、政策テーマごとにディベートを行った。  
民主党青年局からは、津村、森山が参加した。
- (6) One Voice キャンペーンへの参加  
2012年8月21日 衆議院第一議員会館大会議室にて開催。  
上記（1）記載の学生団体 ivote から派生した One Voice Campaign 実行委員会主催のイベント。インターネット選挙運動解禁に関するパネルディスカッションとして企画され、20代の若者（200名程）と若手政治家が参加した（平将明（自民）、福島みずほ（社民）、松田公太（みんな））。  
民主党からは鈴木寛、石井登志郎、青年局からは津村が参加した。

## ② 今後の課題

引き続き、青年局に依頼のある学生団体などとの交流は積極的に受ける一方、サブカルチャー（クラブ、アキバ系）を担う若者との交流が今後の課題。

## 10. 企業・団体交流

○政党と企業・団体との交流は「現場の声を聴く」大切な機会であり、省庁や学者の作成する政策や計画に対し、まさにこの「現場の声」を反映し、血の通った政策・計画にすることは、政治の役割である。また、青年組織間の交流に限らず、メディアや人を介して情報を得るよりも、直接、交流・接触をすることによって、相手に対する誤解を少なくし、理解を深める効果がある。

とりわけ、政党青年局と企業団体の青年組織との交流は、①互いの組織の青年交流により、将来の組織間の友好的な関係の発展に資すること、②世代に共通する認識・意識に基

づき、組織の幹部同士とは異なった意見交換が可能となる場合があること、③組織幹部同士が対立的である場合に、青年組織間の交流が風穴を開け、組織全体の相互理解に発展する可能性もあること（青年組織はそのくらいの気概を持って活動を行うべきである）、④これらの活動成果は、直接的・間接的に党の選挙支援等に発展する可能性があること、等の効果があると考えられる。

#### ① 活動実績／平成 23 年 9 月～24 年 9 月まで

本年度においては、企業団体交流の活動はあまり活発とは言えなかった。活動実績としては、平成 24 年 1 月 30 日に津村啓介民主党青年局長、小山展弘青年局長代理が JA 全国農協青年組織協議会（全青協）の理事会を訪問。理事メンバーと意見交換を行った。特に牟田天平会長の「我々は、全国農業協同組合中央会の組織職員の幹部と異なり、全員が農家であり、現場で農業を行っているメンバーである。また、世代的な違いもある。政党単位ですべてを肯定したり、全てを否定すべきではないと考えている。今後も交流することによって、農家の声も聴いてほしいし、お互いに理解を深めていきたい」との発言が印象的であった。

2 月 15 日には、舟山康江参議院議員と小山展弘青年局長代理が、民主党青年局として JA 全国青年大会に出席。舟山議員は、自民党の江藤拓議員、全青連メンバーとともに、パネルディスカッションにパネラーとして意見交換。舟山議員は農業者戸別所得補償制度を始め、農業に対する民主党の考えを説明した。自民党の江藤議員からは、「民主党の戸別所得補償政策は大きな成果であり、自民党として修正すべきと考える部分はあるが、制度そのものを否定すべきでないとする。古い政治に戻さず、若い政治家同士で新たな日本の農業を築いていこう」との発言もあり、青年組織の交流としては、大変有意義であったと考える。

#### ② 今後の活動について

今後は、平成 23 年 9 月～24 年 9 月までの 1 年間の活動よりさらに発展させ、連合青年組織、商工会議所青年部、各種団体青年部等々、青年組織との交流を拡大・深化させていくことが望ましい。また、全国団体における青年組織と党本部青年局との交流の成果を、ブロック単位、都道府県単位、地域単位での交流の拡大に生かしていくことが望ましい（いまだ交流のない都道府県域においては全国段階レベルでの交流をきっかけに交流を開始する、すでに交流を開始しているところについては、さらに交流を深化させていく）。

以 上